

令和3年第22回

# 荒川区教育委員会定例会

令和3年11月26日

於)特別会議室

荒川区教育委員会

令和3年荒川区教育委員会第22回定例会

- |        |                                                                                  |                                                                                    |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 時  | 令和3年11月26日                                                                       | 午後3時00分                                                                            |
| 2 場 所  | 特別会議室                                                                            |                                                                                    |
| 3 出席委員 | 教 育 長<br>教育長職務代理者<br>委 員<br>委 員<br>委 員                                           | 高 梨 博 和<br>繁 田 雅 弘<br>長 島 啓 記<br>坂 田 一 郎<br>小 林 敦 子                                |
| 4 出席職員 | 教 育 部 長<br>教 育 総 務 課 長<br>指 導 室 長<br>教 育 セ ン タ ー 所 長<br>書 記<br>書 記<br>書 記<br>書 記 | 三 枝 直 樹<br>山 形 実<br>津 野 澄 人<br>大 久 保 和 彦<br>杉 山 茂<br>小 川 綾 一<br>丸 田 恭 雅<br>宮 島 弘 江 |

( 1 ) 報告事項

ア 第 1 1 回「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」の審査結果について

( 2 ) その他

教育長 荒川区教育委員会令和3年第22回定例会を開催いたします。

初めに、出席者数の御報告を申し上げます。本日、5名全員出席でございます。坂田先生はオンラインで御出席を頂いています。よろしくお願いいたします。

議事録の署名委員につきましては、繁田委員、長島委員、御兩名にお願いいたします。

それでは早速、本日の議事日程に従いまして議事を進めます。本日は、報告事項1件となっております。報告事項ア「第11回『荒川区図書館を使った調べる学習コンクール』の審査結果について」を議題といたします。大久保教育センター所長、説明をお願いします。

教育センター所長 第11回「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」の審査結果について、御報告申し上げます。

初めに、応募状況でございます。小学校6,006点、中学校1,782点、全応募作品7,788点ございました。小学校、中学校ともに全校から応募がございました。

審査会の日時は、令和3年10月26日に行いました。審査委員は、教育長、教育部長、教育センター所長、ゆいの森課長、地域図書館課長、学校図書館を担当されている小・中学校長です。

審査基準でございます。発達段階に応じたテーマを選び、図書館の資料・情報を的確に収集・活用できている。複数の資料・情報を活用し、調べる目的、方法、過程を示し、使用した資料・情報の出典を明示している。調べる過程や作品に学ぶ喜びが読み取られ、表現方法を工夫して考えをまとめ、自分の言葉で解決しようとしている。以上3点でございます。

審査結果でございます。小学校の部、中学校の部資料にございますとおり、区長賞1点、教育委員会賞2点、校長会賞3点、奨励賞4点でございます。

今後の予定でございます。表彰式を令和4年1月14日金曜日に予定しております。この表彰式は、小論文コンテストとの合同の表彰式を予定しております。

報告は以上でございます。

教育長 本日は机上に、そして坂田委員にはデータで受賞した作品のコピーをおつけしてございます。この場でというところで恐縮ですが、御感想、御意見等をおっしゃっていただければと思います。

小林委員 まず、こういった調べる学習コンクールは大切なことです。今後、学力として、自分でテーマを決めて調べることが重要になってきますので、こういったコンクールを実施するということ、また今回は、第11回ということで継続しておりますので、とても大切だと思っております。

それと、非常にすばらしい作品が多くて、本当に驚かされました。応募件数も多いですし、また、この内容の濃さです。テーマ設定、具体的な調査の方法であるとか、その点が非常に

優れていると思えました。

私は、大学の教師をしておりますけれども、大学生にも見せたいくらいのレベルの高さだと思えます。関係者の皆様、非常に努力をされたと思えますので、よろしくお伝えください。  
教育センター所長 ありがとうございます。

繁田委員 教えていただいてもよろしいですか。生徒さんがテーマを決めるときは、どんな手順というか、誰かが指導をしてということでしょうか。

教育センター所長 テーマの設定の方法も様々ございまして、例えば今回、小学校で教育委員会賞を受賞しました「小麦はひみつがいっぱいだ」という作品は、お買い物に行って、そこで粉がいっぱい売っているという疑問を持ったというところから調べ始めるなど、子どもたちの生活に密着した様々な体験から、疑問を持って調べる場合もございまして。

教育部長 補足よろしいですか。基本的には、子どもが自ら興味のあるテーマを選んで、それについて調べていくという形でやってございます。

繁田委員 知るテーマを選ぶのはできるだけ自由なほうがいいから、それをどう伸ばしていくか、先生とか指導者がいるといいかなと思うのですが、原点はお子さんの興味で始まったらすてきなと思います。ありがとうございました。

長島委員 募集期間が9月2日から9月8日までとなっておりますけれども、生徒さんは、主に夏休みの期間とかを使ってこれを作成したと捉えてよろしいのですか。

教育センター所長 先生のおっしゃるとおりでございまして、1学期から夏休みにかけて調べたものを、夏休み明けに応募するという形で出てきてございます。

長島委員 1学期は、学校のある時間を使ってなんかやったりもしているのですか。

教育センター所長 例えば学校図書館を使った学習の中で、調べる学習の進め方を全体に説明しまして、テーマに沿った本を学校司書を中心に、調べる本の紹介、レファレンス等を行って調べる支援をしてございます。

長島委員 ありがとうございます。

教育長 長島委員の今のお尋ねのように、募集期間は9月になっておりますけれども、実は各小・中学校では、1学期からこの調べる学習コンクールに向けて、授業の中で児童・生徒に指導をしてございまして、先ほど繁田委員からお話のありましたテーマ決めなど、身近な疑問を出させたり、あるいはまた過去の受賞作品を子どもたちに見せたり、調べ方の手順を教えたりしています。

さらに興味をもった子どもたちには、教育センターと図書館課で講習会を実施しております。

長島委員 いろいろな資料が使われていてすごいですね。

小林委員 これは、各小学校で展示をしたり、あるいは次年度、あるいはその次の年度のモデルというか模範に活用されるのですか。

教育センター所長 今回の上位作品も、先生のおっしゃるとおり、これから計画的に各校に展示してまいりまして、来年度の学習の参考としてもらう予定でございます。

小林委員 そうですか、分かりました。

教育長 学校だけではなくて、講習会の中で過去の受賞作品として図書館にも展示し、子どもたちが、このような形で勉強しているというか学習の成果を広くPRしていきたいと思えます。

坂田委員 よろしいですか。今、区長賞を受賞した「脱炭素社会」というのをざっと見せていただいたのですけれども、これは、中でも非常に優れていて、調査だけではなくて自分で実験もやっておられて、ある種の研究になっていると思えます。

その中で、最後さらに自分たちができることということで、自動車の問題に着目されて、自動車の社会的費用というのは、本学名誉教授の宇沢弘文先生が提唱された、非常に有名な理論なのですけれども、それを解決するために歩くとどれくらい脱炭素ができるかというところに議論を持っていかれていて、最初、CO<sub>2</sub>の性格から入ってそこまで議論を持っていかれるというのは、非常に大きな労力と時間を費やされたものだと思います。

子どもたちが、自分でまずテーマを決めて、テーマについてどういうことを調べるかとか、このケースのように実験をすとか自分で設計をして、その上で大人のサポートを得ながら進めていくという経験が非常に重要ではないかと思えます。以上です。

教育長 ありがとうございます。

繁田委員 もう一つ教えていただいてもよろしいですか。審査委員の先生方が選考するじゃないですか。差し支えなかったら選考方法を教えて頂けないでしょうか。採点、得点をつけて上位からとか。

教育センター所長 まず採点を行いまして、各審査委員からの観点を総合的に評価いたしまして賞を決定いたしました。

繁田委員 ありがとうございます。

教育長 よろしいでしょうか。

(「はい」の声)

教育長 それでは、本件については以上とさせていただきます。

そのほか、事務局から連絡事項はありますでしょうか。

教育総務課長 日程等について、今回修正はございません。

次回、12月10日定例会の終了後、小学校長会との懇談会を予定しておりますので、ど

うぞよろしく願いいたします。以上でございます。

教育長 それでは、以上をもちまして教育委員会令和3年第22回定例会を閉会といたします。

了